

# 北海道サービス管理責任者等研修シラバス

## 第4分野 就労

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	講義4 「サービス提供のプロセスとサービス管理責任者の視点」
○	2 関連する研修目標	②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
○	3 担当講師名	吉田 志信
○	4 担当講師略歴	H16.4～H19.9 小樽後志地域 障がい者就業・生活支援センター ひろば 就労支援員 H19.9～H26.9 石狩障がい者就業・生活支援センター のいける 就労支援員 H26.10～現在 就労移行支援事業所 あるば札幌 管理者
○	5 時間数	2時間
○	6 教科の目的	アセスメントとサービス提供の基本姿勢について学ぶ
○	7 教科の概要	アセスメント技法や特に配慮しなければならないポイントについて解説
○	8 授業方法	講義
○	9 到達目標	アセスメントとサービス提供の基本姿勢について理解する
○	10 授業計画	1. 分野別事業概論 2. 就労系障害福祉サービスの現状 3. 就労移行支援事業・就労継続支援 (A型・B型)事業別の ・ サービス提供の基本姿勢・ポイント ・ アセスメントのポイント ・ サービス管理プロセスの実際 ・ サービスの評価
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	講義テキスト
	13 注意事項	時間厳守
	14 参照リンク	

注) ・「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。

複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

①本人主体の支援方法を理解すること

②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること

③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

# 北海道サービス管理責任者等研修シラバス

## 第4分野 就労

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	講義5 「サービス提供のプロセスとサービス管理責任者の視点」
○	2 関連する研修目標	②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
○	3 担当講師名	吉田 志信
○	4 担当講師略歴	H16.4～H19.9 小樽後志地域 障がい者就業・生活支援センター ひろば 就労支援員 H19.9～H26.9 石狩障がい者就業・生活支援センター のいける 就労支援員 H26.10～現在 就労移行支援事業所 あるば札幌 管理者
○	5 時間数	1時間
○	6 教科の目的	アセスメントとサービス提供の基本姿勢について学ぶ
○	7 教科の概要	アセスメント技法や特に配慮しなければならないポイントについて解説
○	8 授業方法	講義
○	9 到達目標	アセスメントとサービス提供の基本姿勢について理解する
○	10 授業計画	1. 分野別事業概論 2. 就労系障害福祉サービスの現状 3. 就労移行支援事業・就労継続支援(A型・B型)事業別の ・ サービス提供の基本姿勢・ポイント ・ アセスメントのポイント ・ サービス管理プロセスの実際 ・ サービスの評価
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	講義テキスト
	13 注意事項	時間厳守
	14 参照リンク	

注) ・「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。

複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

①本人主体の支援方法を理解すること

②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること

③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

## 北海道サービス管理責任者等研修シラバス

### 第4分野 就労

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	演習1「サービス提供プロセスの管理の実際 事例研究①(アセスメント編)」
○	2 関連する研修目標	①本人主体の支援方法を理解すること
○	3 担当講師名	大澤 隆則
○	4 担当講師略歴	H18年4月～H18年9月 札幌市発達障害支援センターおがる 就労相談員 H18年10月～H22年3月 就労移行支援事業所 あるば 所長 H23年4月～ 現在 石狩市相談支援センターぷろっぷ センター長
○	5 時間数	4時間
○	6 教科の目的	サービス提供のプロセスに沿って支援が実施された事例に基づき、支援方針の基本的な方向性や利用者像の把握、目標設定などについて演習を通して学習する。
○	7 教科の概要	標準的なサービス提供のプロセスに沿って支援が実施された事例に基づき、支援方針の基本的な方向性やサービス内容を左右する利用者像の把握や目標設定などの事項に重点を置いて演習を展開する
○	8 授業方法	講義・演習
○	9 到達目標	サービス提供のプロセスに沿って支援が実施された事例に基づき、支援方針の基本的な方向性や利用者像の把握、目標設定などについて演習を通して理解を深める。
○	10 授業計画	アセスメントの視点を学ぶ プランニングを意識したアセスメントを知る、考える ・背景や想いに迫るアセスメントを意識し、引き出す ・複数の人による多角的な見方や発想でニーズに迫るプロセスを体験する
	11 準備学習	事前課題を実施。
	12 教科書・参考書	分野別講義演習テキスト
	13 注意事項	事前課題の提出必須 時間厳守
	14 参照リンク	

注) ・「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。

複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

①本人主体の支援方法を理解すること

②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること

③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

## 北海道サービス管理責任者等研修シラバス

### 第4分野 就労

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	演習1「サービス提供プロセスの管理の実際 事例研究①(アセスメント編)」
○	2 関連する研修目標	①本人主体の支援方法を理解すること
○	3 担当講師名	横井 和徳
○	4 担当講師略歴	平成13年4月～平成19年 6月 社会福祉法人 愛和福祉会 あっせん型雇用支援センター及び就業・生活支援センター 就労支援ワーカー 平成19年10月～平成24年 3月 社会福祉法人 ともに福祉会 就労支援員 第1号職場適応援助者 平成24年4月～ 現在 特定非営利活動法人 ぱすとらる 管理者及びサービス管理責任者
○	5 時間数	4時間
○	6 教科の目的	サービス提供のプロセスに沿って支援が実施された事例に基づき、支援方針の基本的な方向性や利用者像の把握、目標設定などについて演習を通して学習する。
○	7 教科の概要	標準的なサービス提供のプロセスに沿って支援が実施された事例に基づき、支援方針の基本的な方向性やサービス内容を左右する利用者像の把握や目標設定などの事項に重点を置いて演習を展開する
○	8 授業方法	講義・演習
○	9 到達目標	サービス提供のプロセスに沿って支援が実施された事例に基づき、支援方針の基本的な方向性や利用者像の把握、目標設定などについて演習を通して理解を深める。
○	10 授業計画	アセスメントの視点を学ぶ プランニングを意識したアセスメントを知る、考える ・背景や想いに迫るアセスメントを意識し、引き出す ・複数の人による多角的な見方や発想でニーズに迫るプロセスを体験する
	11 準備学習	事前課題を実施。
	12 教科書・参考書	分野別講義演習テキスト
	13 注意事項	事前課題の提出必須 時間厳守
	14 参照リンク	

注) ・「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。

複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

①本人主体の支援方法を理解すること

②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること

③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

## 北海道サービス管理責任者等研修シラバス

### 第4分野 就労

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	演習2「サービス提供プロセスの管理の実際 事例研究②(個別支援計画編)」
○	2 関連する研修目標	②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
○	3 担当講師名	片平 修
○	4 担当講師略歴	S62.4～H3.3 国立十勝療養所作業療法科 H3.4～H19.3 社会福法人慧誠会 帯広ケア・センター 作業療法士 H19.4～現在 社会福祉法人慧誠会 帯広ケア・センター 管理者兼サービス管理責任者 H19.4～H26.3 同法人 十勝障がい者就業・生活支援センター だいち センター長 H26.4～現在 同法人 多機能型事業所 稲田館 管理者
○	5 時間数	3時間
○	6 教科の目的	事例研究①と同様に、障がい内容の異なるより困難な事例を用いて、アセスメント結果がすでに明らかとなっている状況から正確な個別支援計画書を作成・修正することを学ぶ。
○	7 教科の概要	より困難な事例を用いて、アセスメント結果がすでに明らかになっている状況から正確な個別支援計画を作成、修正する。
○	8 授業方法	演習
○	9 到達目標	より困難な事例を用いて、アセスメント結果がすでに明らかになっている状況から正確な個別支援計画を作成、修正することを理解する。
○	10 授業計画	収集したアセスメント情報を整理し、プランニングへつなげる ・本人の希望(夢)と先の見通し(現実)を持てるプランを意識する ・つくった個別支援計画の原案を本人が理解し、同意できるような提案をする ・自分たちの計画を本人がどう思ったか気づく、確認する。 ・個別支援計画の修正を行う。
	11 準備学習	提示された事例の読み込みを行う。
	12 教科書・参考書	分野別講義演習テキスト
	13 注意事項	時間厳守 課題の確認
	14 参照リンク	

注) ・「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。

複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

①本人主体の支援方法を理解すること

②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること

③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

## 北海道サービス管理責任者等研修シラバス

### 第4分野 就労

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	演習3「サービス内容のチェックとマネジメントの実際(模擬会議)」
○	2 関連する研修目標	③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること
○	3 担当講師名	重泉 敏聖
○	4 担当講師略歴	平成12年4月～平成20年9月 共同作業所 ヨベル 就労支援員 平成20年10月～ 就業・生活応援プラザ とねっと センター長
○	5 時間数	3時間
○	6 教科の目的	個別支援計画の作成に係る会議をシュミレーションし、サービス管理責任者としてサービス提供者が展開する様々なサービス内容をチェックし、支援チームに対するマネジメントの方法について学ぶ。
○	7 教科の概要	個別支援計画の作成に係る会議をシュミレーションし、サービス管理責任者としてサービス提供者が展開する様々なサービス内容をチェックし、支援チームに対するマネジメントの方法について演習する
○	8 授業方法	演習
○	9 到達目標	個別支援計画の内容をチェックし、その後のモニタリングにつなげることを学ぶ。
○	10 授業計画	個別支援計画の内容をチェックし、その後のモニタリングを行う。
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	分野別講義演習テキスト
	13 注意事項	時間厳守
	14 参照リンク	

注) ・「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。

複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

- ①本人主体の支援方法を理解すること
- ②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
- ③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること



## 北海道サービス管理責任者等研修シラバス

### 第4分野 就労

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	演習2「サービス提供プロセスの管理の実際 事例研究②(個別支援計画編)」
○	2 関連する研修目標	②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
○	3 担当講師名	重泉 敏聖
○	4 担当講師略歴	平成12年4月～平成20年9月 共同作業所 ヨベル 就労支援員 平成20年10月～ 就業・生活応援プラザ とねっと センター長
○	5 時間数	3時間
○	6 教科の目的	事例研究①と同様に、障がい内容の異なるより困難な事例を用いて、アセスメント結果がすでに明らかとなっている状況から正確な個別支援計画書を作成・修正することを学ぶ。
○	7 教科の概要	より困難な事例を用いて、アセスメント結果がすでに明らかになっている状況から正確な個別支援計画を作成、修正する。
○	8 授業方法	演習
○	9 到達目標	より困難な事例を用いて、アセスメント結果がすでに明らかになっている状況から正確な個別支援計画を作成、修正することを理解する。
○	10 授業計画	収集したアセスメント情報を整理し、プランニングへつなげる ・本人の希望(夢)と先の見通し(現実)を持てるプランを意識する ・つくった個別支援計画の原案を本人が理解し、同意できるような提案をする ・自分たちの計画を本人がどう思ったか気づく、確認する。 ・個別支援計画の修正を行う。
	11 準備学習	提示された事例の読み込みを行う。
	12 教科書・参考書	分野別講義演習テキスト
	13 注意事項	時間厳守 課題の確認
	14 参照リンク	

注) ・「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。

複数ある場合は、より関連の強い目標の一つ記載すること。

①本人主体の支援方法を理解すること

②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること

③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

## 北海道サービス管理責任者等研修シラバス

### 第4分野 就労

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	演習3「サービス内容のチェックとマネジメントの実際(模擬会議)」
○	2 関連する研修目標	③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること
○	3 担当講師名	片平 修
○	4 担当講師略歴	S62.4～H3.3 国立十勝療養所作業療法科 H3.4～H19.3 社会福法人慧誠会 帯広ケア・センター 作業療法士 H19.4～現在 社会福祉法人慧誠会 帯広ケア・センター 管理者兼サービス管理責任者 H19.4～H26.3 同法人 十勝障がい者就業・生活支援センター だいち センター長 H26.4～現在 同法人 多機能型事業所 稲田館 管理者
○	5 時間数	3時間
○	6 教科の目的	個別支援計画の作成に係る会議をシュミレーションし、サービス管理責任者としてサービス提供者が展開する様々なサービス内容をチェックし、支援チームに対するマネジメントの方法について学ぶ。
○	7 教科の概要	個別支援計画の作成に係る会議をシュミレーションし、サービス管理責任者としてサービス提供者が展開する様々なサービス内容をチェックし、支援チームに対するマネジメントの方法について演習する
○	8 授業方法	演習
○	9 到達目標	個別支援計画の内容をチェックし、その後のモニタリングにつなげることを学ぶ。
○	10 授業計画	個別支援計画の内容をチェックし、その後のモニタリングを行う。
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	分野別講義演習テキスト
	13 注意事項	時間厳守
	14 参照リンク	

注) ・「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。

複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

①本人主体の支援方法を理解すること

②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること

③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること